



## ○自然・歴史・文化に触れながら、家族で早春の遍路道を歩きました！



3月17日（土）、子どもと大人の計12名の方にご参加いただき、親子自然体験教室4「早春の遍路道を歩こう！」を開催しました。野山の木々に春の訪れが感じられる中、五色台少年自然センター近くの第82番札所「根香寺」を見学し、その後、第81番札所「白峯寺」へと続く約1.2kmの遍路道を歩きました。「根香寺」では、センター職員から、



牛鬼伝説や手水、納札ちようずなどの説明のうさつを聞き、遍路道では、樹木に触ったり、葉っぱで笛をつくったりと色々な体験をしました。家族での楽しい思い出になりました

ら幸いです。ご参加ありがとうございました。

### シリーズ 自然科学展示室④ <猛禽類のはく製標本>

自然科学展示室には、日本に生息する鳥類のはく製標本80数点を展示しているが、特に目を引くのが、鋭い爪やくちばし、真っすぐに見開いた大きな眼が特徴の猛禽類（クマタカ、オオタカ、ハチクマ、ハイタカ、ツ



オオタカ



ミサゴ (右)

ミ、ミサゴ、トビ、ノスリ、チョウゲンボウ、フクロウ、オオコノハズク)である。この中で、最も大形なのはクマタカで翼を広げると140～165cmもある。クマタカは日本特有の亜種で、山地に生息繁殖し、ウサギ、キジ、ヤマドリなどを捕食する。ミサゴは海岸や湖畔にすむ中形のタカで、五色台でも飛翔する姿がときどき見られる。